

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-03-01-05
事務事業名	観光施設整備事業	根拠法令・要綱等	
事業開始年度	S46~	問合せ先	
大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	担当課(室)	商工観光課
中項目	個性あふれる観光のまちづくり	職・氏名	観光係長 山台 智子
小項目	施策 観光	電話	64-1832(274)

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	観光客
目的(何のために)	観光資源を活かすために、有効な観光施設を整備し誘客を図る。
行政活動(どのような方法で)	夕立受山等整備事業、国立公園協会負担金事業、海水浴場の整備、古代体験の郷まほろば屋根の葺き替え、八塔寺民族資料館屋根の葺き替え
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	観光施設の環境整備

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	負担団体数	団体	1	1	1
	海水浴場の整備	箇所	2	2	3
	まほろば屋根の葺き替え	棟	2	3	0
	八塔寺民族資料館屋根の葺き替え	棟	0	1	0
	直接事業費		2,669	17,670	598
	人件費	千円	3,841	3,345	465
	事業費計		6,510	21,015	1,063
	国県支出金				
	受益者負担	千円			
市一般財源		6,510	21,015	1,063	
必要人員	人	0.47	0.38	0.06	
結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
観光施設整備箇所数	箇所	4	6	3	
結果指標量	箇所				
対前年比	%	-	150.0%	50.0%	
活動コスト	円	6,510,000	21,015,000	1,063,000	
単位当たりコスト	円	1,627,500	3,502,500	354,333	
結果指標	説明				
結果指標量	人				
対前年比	%	-			
活動コスト	円				
単位当たりコスト	円				

事業の成果			
成果指標名	観光施設整備箇所数	式又は説明	1施設あたりの整備費用
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	1,627,500	3,502,500	354,333
対前年比		215.21%	10.12%
到達目標値	1以上	到達目標年度	適正年度

事業の目的、対象、内容を考えて、目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A~E>	C
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	優れた観光資源を有効に活かすため、施設整備を図り誘客に結びつけることが重要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の意図する成果		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A~E>	C
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	課題認識	
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	効果を検証するとともに、最新のニーズに対応できるよう整備する必要がある。概ねの整備が完了したため、事業費及び人件費の減少となっている。	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
手	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
職	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	有効性評価<A~E>	C
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている	課題認識	
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	事業効果と維持管理を考察し、可能な限り施設の充実を図るようにする必要がある。	
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		

平成20年度の状況		説明	費用対効果を検証しながら、施設整備を年次的に計画性を持って行う必要がある。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	3	結果指標量
	成果指標量		1以上

総合評価	評価区分<A~E>	C	
全国的に誇れる優れた観光資源を有効に活かすため、施設整備を図り誘客に結びつけることが重要である。また、費用対効果を検証するとともに、施設整備を年次的に計画性を持って行う必要がある。			

平成21年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	既存建築物の管理運営について十分検討する。	随時	適正な管理と観光客の増加